

あいさつ運動ニュース

NO.74(2・3月号)

平成 31 年 3 月 1 日

明日香村教育委員会

(文責 教育文化課 下住)

「自ら進んであいさつする子」⇒ 73.4% (H30.12)



平成 30 年 12 月に、「自ら進んであいさつする子」を調査しました。この調査を毎学期末に実施し、子どもたちの実態を把握しています。

調査の結果、2年半前の平成 27 年度 3 月「75.7%」より悪い「73.4%」という結果になりました。(下記掲載のグラフを参照してください。)

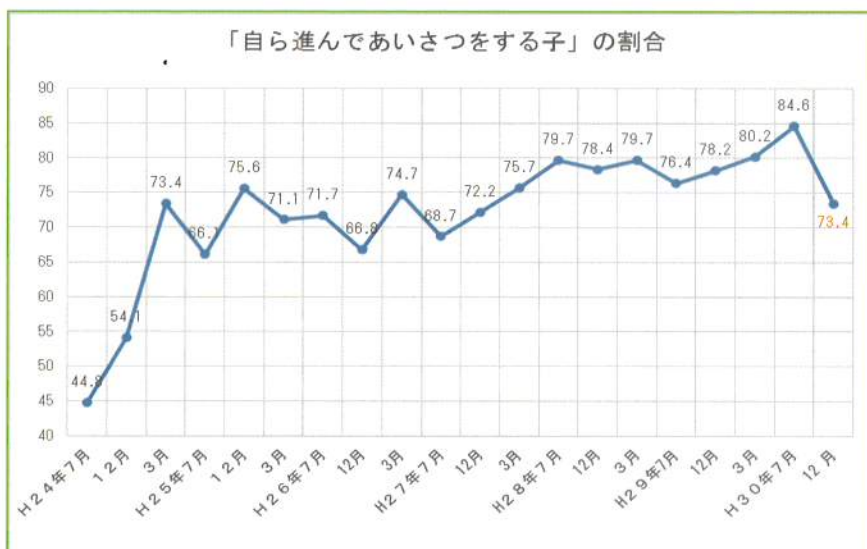
全ての子どもたちに元気がなかった 12 月

調査をしている時すでに、「どうも、元気がないなあ」、「あいさつをしない子が多いな」と感じてい

ました。

特に、大きく落ち込んだのがバス通学の小学生たちでした。バス通学の子どもたちは、朝早くからバスに乗り、揺られ、降りると学校坂を登ることになります。どうしても、元気が出にくい状況ではあります。

しかし、前回の 7 月には 85% に迫ろうとする勢いがありました。



学校・地域コミュニティ協議会でも話し合いました

1 月 25 日に開かれた第 3 回学校・地域コミュニティ協議会においても、各学校園と地域の代表の方々により話し合われました。

- ・バスの子どもは地域の人に挨拶をしているか？
- ・小さい時からきちんとしたマナーが大切である。
- ・昔はリーダーがいた。上級生のリーダー指導をしたらどうか。
- ・親が変わらないと子どもが変わらないのでは。



教えられたことをしっかり守り、実践しようとする幼稚園児。一人の個人であることを自覚し実践するようになる中学生。やはり、成長の途中である小学生が一番難しいと言えます。大人はどうすれば良いのか。工夫をしたいと思えます。